

新外川園(仮称)の建設について

1 新外川園(仮称)建設の理由

現在の外川園は、千葉県内の特別養護老人ホームで建設年度が最も古く老朽化している。千葉県の老人福祉施設整備補助の特別養護老人ホームの補助基準額が平成23年度まで1人当たり400万円と加算されている。

また、従来ユニット型に限られていたが、四人部屋の多床室も補助対象となった。平成23年度末までにスプリンクラー(約4千万円)の設置が義務付けられているので、建設しないと現在の建物にスプリンクラーを設置しなければならない。

2 事業移譲の理由

市が事業主の外川園の介護保険事業を平成23年度から銚子市社会福祉事業団へ移譲し、銚子市社会福祉事業団を新外川園の施設整備主体とし、老朽化が進む施設の建替えを実施することにより、利用者の住環境の改善と安全を確保する。

実施主体を銚子市社会福祉事業団とする利点

主な利点	要旨
補助事業を受けやすくなる。	・補助申請の採択が市よりも優先される。
利用者への影響が少ない。	・契約変更等の事務手続きが容易となる。 ・事業主体の変更に伴う不安を軽減できる。
起債の借入がなくなる。	・既定事業や計画の妨げにならない。 ・将来債務比率に影響しない。
福祉医療機構からの借入が可能となる。	・平成23年度まで、貸付利率、融資率ともに優遇されている。
職員の雇用安定につながる。	・公募による事業主の変更の懸念がない。

3 施設整備計画の概要等

建設予定建物概要

鉄筋コンクリート造り三階建（一部二階建） 延床面積 5,420 m²

項目	特別養護老人ホーム			ショートステイ
	定員 (20人増)	主な居室		
		多床室	個室	
建設予定	130人	4人部屋×28室	18室	2室
現行	110人	6人部屋×15室	無	

建設敷地候補地【資料 1】

市民センター東側駐車場 4,191 m²

建設費用と補助金等

項目	金額	算出根拠
建設費	14億8,000万円	(参照)最近の民間の建設単価
補助金	5億2,160万円	特養定員@400万円×130人=5億2,000万円 ショートステイ @80万円×2室=160万円
借入金	8億6,256万円	(建設費 - 補助金) × 90% = 8億6,256万円
自己資金	9,584万円	建設費用 - 補助金 - 借入金 = 自己資金

補助金（老人福祉施設整備費補助金）

年度	平成20年度以前	平成21～23年度	平成24年度
1人当たり	256万円	400万円	300万円
備考	ユニット型限定	多床室も可(4人以下)	同左

借入金（福祉医療機構）

対象施設	対象者	貸付利率	融資率	償還期間	据置期間
高齢者福祉施設ほか	社会福祉法人ほか	年1.70%	90%	20年	2年
		(最初の5年間 1.10%)	(平成24年度か らは75%)		

参考資料 1

